

平成30年度北極関連予算概算要求

平成29年9月5日

国土交通省

北極海航路の利活用に向けた環境整備の推進

- 北極海航路は、欧州と東アジア間において、スエズ運河経由と比較して航行距離を約6割に短縮できることなどから、新たな選択肢として国内外からの関心が高まっている。
- 利活用にあたり情報が少ない状態にあるため、利用動向や技術的課題等に関する調査を実施。
- 調査結果をもとに「北極海航路に係る官民連携協議会」等で民間事業者・関係省庁との情報共有を図り、北極海航路の利活用に向けた環境整備を推進。

利活用に係る調査の必要性

- 北極海航路利活用の動向や露が定める航行制度等に関する情報の収集・把握が必要
- 北極海航路（氷海域）の運航にあたっては、安全性や経済性に関わる予測精度向上が必要

利活用に向けた環境整備

- 北極海航路の利用実績・動向等に関する基礎的な情報や、露の航行制度に関する最新状況等の継続的な調査
- 北極海航路（氷海域）の運航に関する推定手法※の検討
※ 航行日数・燃費の簡易見積を可能にする推定手法
- 官民連携協議会の運営を通じた関係者との最新情報の共有

北極海航路に係る官民連携協議会

【協議会の構成員】

- 国土交通省関係部局
- 関係省庁
- 民間企業（船社、商社等）
- 財団法人、社団法人等

【開催実績】

- 第1回 平成26年5月
- 第2回 平成27年1月
- 第3回 平成27年6月
- 第4回 平成28年2月
- 第5回 平成28年6月
- 第6回 平成29年2月
- 第7回 平成29年6月

【第5回協議会（28年6月）】



北極海航路に関する調査・分析、統計情報の提供を行っているノルウェーの研究機関も交え議論

【第6回協議会（29年2月）】



ヤマルLNGプラントの建設のために北極海航路を利用した日揮株式会社が講演を行い、議論

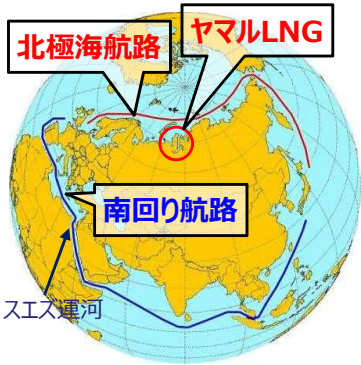
【第7回協議会（29年6月）】

商船三井が北極海航路を利用したLNG輸送の取組を紹介

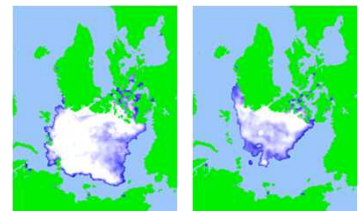
➡ **利活用に向け、継続した情報収集・調査**

■ 横浜港からハンブルグ港への航行距離の比較

- 北極海航路 約13,000km
- 南回り航路 約21,000km
- ☆約6割に距離短縮



■ 北極域の海水分布図



2002年9月 2012年9月

北極海の海水面積は10年前に比べ、減少傾向にある

出典：気象庁HP等をもとに国土交通省作成